

I. 広東省

1. 反腐敗にかかる処分

●11日、省紀律検査委員会は、鄧大栄・元汕頭市副書記を重大な紀律違反の疑いで調査中であると伝えた（7月12日付『南方日報』）。

2. ベルギーで「2017中国・広東省の文化体験：欧州への旅」が開催

●現地時間7日、慎海雄・省宣伝部長がベルギーのリンブルフ州知事と会談し、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長からの心のこもった挨拶を伝え、双方は広東省とリンブルフ州が更に友好協力を強化していくことについて意見交換を行なった。現地時間8日、州都ハッセルトで「友情の橋を共に築こう」と題する「美しい広東・美しいリンブルフ図書・写真展、イノベーション製品展覧会」が開催された。『習近平が語る政治運営』の中国語版、英語版、フランス語版、オランダ語版など約100種類の書籍、両省・州の協力の様子を撮影した約40枚の写真、同省で製造されたスマート製品が展示され、現地メディアの注目を集めた。リンブルフ州副知事（経済担当）等が開幕式に出席。（7月10日付、11日付『南方日報』）。

※広東省とリンブルフ州は2015年に友好省・州関係を締結。

●現地時間10日、上記イベントの一環として、ベルギーの首都ブリュッセルで「一帯一路」中国・EUそれぞれの地域イメージ作りフォーラムが開催され、慎海雄・省宣伝部長は挨拶の中で次のように述べた。本年4月、習近平・国家主席は広東省に対して重要な指示を出し、同省が「先端を行く」よう切実に望まれた。この重要指示の精神を貫徹・実行すべく、同省は対外的に文化を広め、交流することにおいて、先頭を歩まねばならない。このたびのイベントシリーズはロシア、ドイツ、ベルギーで開催してきたが、同省は中国と欧州の経済・貿易・文化協力の促進に貢献していきたい（7月11日付『南方日報』）。

3. 香港・広東各レベル政協委員親睦会が香港返還20周年祝賀パーティーを開催

●10日、上記パーティーが開催され、全国政協副主席の董建華氏、梁振英氏、キャリー・ラム香港行政長官、王栄・省政協主席、嚴植嬋・省統一戦線部長、呉偉鵬・省政協秘書長、全省各市・県（区）の政協と統一戦線部の指導者、香港・広東各レベル政協委員親睦会の会員等1800人が出席（7月11日付『南方日報』）。

※香港・広東各レベル政協委員親睦会：2006年6月設立。香港で登録されている省・市・県各レベルの政協委員による親睦会。

4. 貧困救済に関する視察・会議

●10日～11日、胡春華・省党書記が梅州市の平遠県河頭鎮向陽村、石正鎮坪湖村を訪れ、新農村の建設、新区の発展、産業の共同建設等に関する進捗状況を視察するとともに座談会を開催。鎮・村の幹部や民衆と深く交流し、新農村建設に関する皆の意見・提案を聴取（7月12日付『南方日報』）。

●12日午前、胡春華・省党書記主宰の省党常務委員会議が開催され、習近平・総書記が極貧地域の貧困脱出戦に関する座談会で述べた重要講話の精神を伝達・学習し、更に「省党委員会（党組織）理論学習中心グループにおける学習方法」について審議し採択（7月13日付『南方日報』）。

●13日午前、胡春華・省党書記が主宰し、2277の貧困村を新農村モデル村に作りかえることをテーマとした会議を開催。馬興瑞・省長、任学鋒・広州市党書記、林少春・常務副省長、江凌・省党秘書長、曾志権・省党常務委員（元財政庁長）、鄧海光・副省長等が出席し、省党農村工作弁公室、省財政庁が関連状況の報告を行なった（7月14日付『南方日報』）。

5. 湛江市の軍港で海軍の出立式が開催

●11日、中国人民解放軍の補給基地がジブチに正式に設立され、湛江市の軍港で海軍の出立式が開催された（7月12日付『南方日報』）。

6. 社会の安定維持に関する全省業務会議の開催

● 12日、馬興瑞・省長主宰の上記会議が開催され、胡春華・省党書記が出席するとともに講話を行い、次のように強調した。社会の安定を維持するための各種業務を着実にしっかりと行い、第19回党大会を勝利のうちに開催できるよう、よい環境を作り出さなければならない（7月13日付『南方日報』）。

7. 胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が倪岳峰・税関総署党組織書記と会談

● 12日午後、上記会談で胡春華・省党書記は、税関総署には指導・サポートを拡大していただき、自貿区建設、広東・香港・マカオ・ベイエリア建設、対外貿易の構造転換・高度化等の分野において、広東省がよりいっそう大きな成果を得られるよう手助けしてほしいと述べた（7月13日付『南方日報』）。

8. 徐少華・省人代副主任がアトキンソン豪ビクトリア州上院議長一行と会談

● 14日、徐少華・省人代副主任がブルース・アトキンソン豪ビクトリア州上院議長一行と会談し、次のように述べた。広東省は生態環境の保護を非常に重視しており、環境保護、污水处理、水循環利用等の分野におけるオーストラリアとの技術交流・協力を強化していきたい（7月15日付『南方日報』）。

9. 鄧海光・副省長がフランスの建国レセプションに出席

● 14日、鄧海光・副省長が在広州フランス総領事館の招きを受け、上記レセプションに出席。鄧副省長はまず在広州フランス総領事、広東省に滞在するすべてのフランスの友人に対し、心から記念日を祝う挨拶を行い、次のように述べた。同省は長きにわたり同国との良好な協力関係を維持しており、特に2000年に同省とプロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域圏が友好関係を締結してからは、双方のハイレベルによる相互訪問も頻繁に行われ、経済・貿易の往来も密接になり、協力分野も絶えず拡大しており、文化、建築、教育、スポーツ等の分野における双方の交流・協力も非常に緊密になっている。同省はフランスの友人と一緒に、友好的な往来を強化し、協力を全面的に深め、手を携えて、よりいっそう素晴らしい明日を共に作っていきたい（7月15日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 欧陽衛民・市党副書記が中国国民党高雄市委員会訪問団一行と会談

● 10日、欧陽衛民・市党副書記は市党委員会を代表し、黄柏霖・国民党高雄市委員会主任率いる上記一行の広州市訪問に歓迎の意を表するとともに、同市の経済・社会発展概況について紹介し、次のように述べた。両市は金融産業の発展、人材交流、ゴミ分類処理等の分野において協力を深め、ウィンウィンを実現していきたい。盧一先・市統一戦線部長も同席（7月11日付『広州日報』）。

2. 花都区がグリーン金融改革イノベーションの試験区に

● 11日午前、省政府が広州市グリーン金融改革イノベーション試験区の認可獲得と進捗状況に関する記者会見を行い、陳志英・常務副市長等が出席。肖学・省金融工作弁公室主任が会議を主宰し、陳雲賢・省政府党組織メンバーが出席するとともに講話を行なった。省政府は花都区を中心とするグリーン金融改革イノベーション試験区の各種業務を全力でサポートし、管理権限、財政、土地、人材、金融刷新等の政策において大きなサポートを与えていく（7月12日付『広州日報』）。

3. 中国・欧州一帯一路産業基金（中欧基金）が設立

● 12日午前、黄浦区政府、広州開発区管理委員会、広州世星投資有限公司、銀山資本有限公司が「中国・欧州一帯一路産業基金戦略的協力枠組み協定」に署名し、100億元以上になると見込まれるファンドが設立された（第1期の出資額は20億元）。周亜偉・黄浦区書記（兼広州開発区党工作委員会書記、同区管理委员会主任）が中欧基金との商談・署名式に出席（7月13日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 王偉中・市党書記による会談

- 10日午後、王偉中・市党書記が張玉卓・天津市滨海新区党書記、楊茂榮・同区長率いる党・政府代表团一行と会談（7月11日付『深圳特区報』）。
- 10日昼、王偉中・市党書記が倪岳峰・税関総署党組織書記一行と会談（7月11日付『深圳特区報』）。

2. 深圳経済特区立法授權25周年座談会の開催

- 12日午前、丘海・市人代主任主宰の上記座談会が開催され、喬曉陽・全人代法律委员会主任、許安標・全人代常務委員会法律工作委員会副主任、徐少華・省人代副主任、戴北方・市政協主席、李華楠・市政法委員会書記、張虎・常務副市長等が出席。王偉中・市党書記の委託を受け、李華楠・政法委員会書記が市党委員会を代表して講話を行なった（7月13日付『深圳特区報』）。

3. アメリカの牛肉がスーパーの店頭に

- 13日、サムズ・クラブがアメリカから輸入した牛肉の販売開始を告げる式典を開催。これにより、14年の時を経て、深圳市では初めてとなるアメリカ牛の販売が始まる。ジョエル・ハガード米国食肉輸出協会アジア太平洋地区担当副会長も同式典に出席し、将来的に中国への牛肉の輸出量は漸次増加していき、2018年末までには100トン以上の冷蔵・冷凍牛肉製品が続々と中国の消費者の元へ届けられるだろうと述べた（7月14日付『深圳特区報』）。

※サムズ・クラブ：米ウォルマート傘下の会員制卸売りクラブ（会員制大型倉庫店）。